

2024

# 同友しずおか 9



VOL.550

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった!」



私の逸品

(有)石川商店

自宅に併設された  
ライブスタジオ

～互いに支えあい、励ましあい、援けあう～  
私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



静岡県中小企業家同友会



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

### 同友会3つの目的

#### 1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

#### 2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

#### 3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、  
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる  
悩み、解決へのヒント、将来への展望。  
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130



## ◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

### ◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

### ◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

### ◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の<sup>きやうじ</sup>矜持と努力を結集し、  
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

## 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1117名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
よこやま 横山 めい	(株)ヨコヤマ 宝石販売	富士宮	中野 雄貴
おおすが 大須賀 隆秀	アーティックキャリア(株) 人材教育事業、人材紹介業、人材派遣業、業務委託請負業	浜松	江間 省豪

## 名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
はら 原 たけし 彪 翅	(株)トクラ 総合物流・卸小売業(一般区域貨物運送事業・保冷蔵置場事業、サーティーワンアイスクリーム小売事業)	三島	原 衛



# 年商10倍を実現した 挑戦的取り組み

(有)石川商店 (沼津支部)

代表取締役 石川 英章氏



自宅に併設されたライブスタジオ



石川 英章氏

## チャレンジを積み重ね 年商10倍を実現

代表取締役の石川英章氏は大  
学卒業後、大手百貨店で14年間  
経験を積み、会社を辞める1年  
前からランチェスター経営につ  
いて徹底的に学び2011年に  
家業である(有)石川商店に入社。  
入社当初は経営が傾いており前  
職でプロとして学んできたやり  
方と先代とのやり方の違いに悩  
み苦しむも、その立て直しを図  
るため「装いを通してライフス  
タイルを豊かにする」をコンセ  
プトに掲げました。洋服を売る  
のではなく、お客様のライフス  
タイルまで提案する。その為に  
商品数を増やし、リピート施策  
を準備しネット販売やオーダー  
メイドスーツなどの販売で業績  
を上げ2013年に社長交代。  
その後、2014年には店舗  
を全面改装し客層の年齢層を下  
げ、三島に住んでいるながら東京  
に住んでいるような富裕層を  
ターゲットにブティックからセ  
レクトショップへと業態変更。



ライブ配信の様子

今までの古いやり方をすべて変  
え、新生「石川ラボ」としてス  
タート、その後ランチェスター  
経営を取り入れて弱者が強者に  
勝つために徹底的に数字を分析  
し戦略を立て地域No.1を目指し、  
来店型の店舗としては三島でNo.  
1となりました。

また、従業員を最高の顧客と  
考え従業員の満足度も上げつつ、  
一人一人のお客様を大切にしま  
い思いから手書きのお礼状を書  
いたり、誕生日のサプライズに  
ケーキを用意したり、着実に業  
績を伸ばしていきました。その  
最中、働き過ぎとストレスから  
大病を患い人生や働き方につい  
て見つめ直しました。それ以降、  
いままでは以上に売上を伸ばすた  
めに2019年から全国のお客  
様を相手にしたいとライブコ  
マースにシフト。一対複数接客  
に力を入れ奥様がショッピングチャ  
ネルに出演したり、イタリア  
から配信オーダーを受ける、取  
引先の倉庫の在庫で宝探しライ  
ブを行ったりと、次々と新しい

## 逸品は自宅に併設された ライブスタジオ

ことに挑戦して売上は10倍以上  
に。今後は斜陽となっているア  
パレル業界での成功事例を作り  
たいと思い、将来的には売上を  
10億円まで伸ばす計画です。

石川氏の奥様が夜のライブ配  
信を、店舗に行くなどの負担な  
くいつでも行えるようにと環境  
に配慮されて造ったライブスタ  
ジオ。旬な話題をリアルタイム  
ならではの臨場感でリスナーと  
ライバーが共有することで、顧  
客の購買意欲を高めています。  
様々な媒体でのライブ配信が飽  
和状態の昨今、TPOに合わせ  
たスタイリングを提案し、顧客  
のニーズに添ったモデリングで  
差別化を図ることに成功してい  
ます。即興での対応力が問われ  
るライブ配信で顧客の心を掴ん  
で離さないのは「顧客を死ぬほ  
ど大切にしよう」という石川氏の  
想いであり、顧客の個性や生活  
背景に合わせた装いを提案する  
ことで、ライブスタイル

を豊かにし、リピーター  
の獲得にも繋がると話し  
ました。

## 同友会の学び

当初両親との確執や悩  
みを抱えている折に同友

会の三島支部に入会されその後  
退会。経営を勉強したいという  
スタンスに共感し、現在は沼津  
支部に再入会しました。理念を  
基にした戦略と、双方のバラ  
ンスが大切であり、目標設定を正  
しく持つことがマネージメント  
に繋がると話す石川氏。「事業  
の成功がお客様の支持を得てい  
ることであり、それが経営者の  
あるべき姿だと改めて感じてお  
り『継ぎたくなる会社』にする  
というポリシーを掲げ、魅力あ  
る会社づくりの為、今後も様々  
な会に参加し、知見を広げてい  
きたい」と話してくれました。

取材・記事：高村 憲史氏  
(株)アレビカコーヒー 沼津支部  
取材：太田 喜貴氏  
(株)キラガ 沼津支部

## (有)石川商店

〒411-0036 三島市一番町3-6  
マ・ローネビル1F

TEL：055-975-1814

URL：http://ishikawa-labo.com/

創立 1954年

社員数 11人

入会年月 2022年2月

事業内容 レディースセレクトショップ

地域の元気をまちの人と有機的に創造する

加和太建設(株)  
代表取締役 河田亮一氏(三島支部)

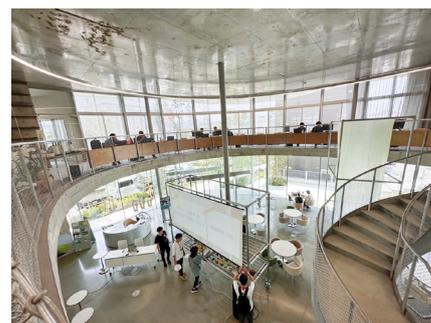


取材陣との集合写真(左から3番目 河田氏)

2024年6月に完成した加和太建設(株)の新社屋に訪問。代表取締役の河田氏に取材させていただきました。

社屋建て替えプロジェクトが2018年にスタート

これまでの社屋は築40年以上が



2階から見た本社内

経ち、設備の老朽化と社員も増えてきたことから新社屋プロジェクトが立ち上がりました。当時の社屋は「エアコンが古く、夏場は定期的に室外機を冷やさないと空調が効かないため、社員が交代で水をかけていた」と河田氏は振り返ります。

取材前は「建設業だから自社社屋の建て替えなど朝飯前だったのでは」とイメージしていました。しかし、実際にはお客様の案件を最優先しながらプロジェクトを立ち上げる必要があり、加えてプロジェクトメンバーの多くが初めての経験。進め方の模索からスタートしました。そんな中、オフィス空間づくりのプロジェクトマネージメントを得意とする会社に出会い、プロジェクトがスタート。社屋の設計をコンペティション形式で募集し26社から選ぶことになりました。

コロナ禍中、設計中止の決断

1年半かけて2020年に基本設計が完成。初期案は4階建てで市民が利用できるホールやレストラン、ギャラリーなどを含む社屋

を予定していました。

しかし、コロナ禍による社会様式の変化、何より活気を止めてしまった街中。そんな状況下で「自分たちだけが街の活気を吸い上げてしまおうような新社屋の基本設計は、社会に逆行してしまう存在になりかねない」と考え、そこで浮かんだのが分散型本社スタイルです。本社の規模を縮小することにも、街とより密接に関わることができるよう、街中の空きビルなどをリノベーションし、オフィスを点在させるといった案でした。設計者にも理解を示していただき快諾。「ゼロから設計し直しましよう」と再スタートを切ることにしました。

社屋はあえて2階建てにし、本社には建設部門の社員。まちづくりに携わる部門は中心市街地に据えた仮社屋を「CROSS MI SHIMA(クロスミシマ)」としてスタートさせ、分散型本社方式としました。社員を分散体制にしたのも「街と社員を融合することで、街と一緒に成長する機会にしたい」そのための環境づくりだと河田社長は語ります。

業界変革と街づくりのために

新社屋を見学させていただいた感想として「有機体」「生命体」という言葉が想起されました。開放感のあるデザインは、加和太建設の理念や意志が外に拡がってゆく空気感があり、働いている社員皆さんの元気という言葉につきました。「今、我々がやっていることは、建設業の現場ゼネコンを変えたい。そしてその実践をこの地でチャレンジすること」。街の成長



説明する河田社長

と社員の成長を一緒に発展させる、河田社長の意志をじっくりと聞くことができた取材となりました。

取材・記事：増田隼人氏

(株)集客デザイン研究所・三島支部

取材：秋山敦氏

(株)秋山建設・三島支部

細井崇史氏

(花屋Marley・三島支部)

渡邊真生氏

(株)東京海上あんしんエンジニア

静岡支社・三島支部

加和太建設(株)

〒411-0033 三島市文教町1-5-15

TEL : 055-987-5541

URL : <https://www.kawata.org>

創業 1946年

社員数 322名

入会年月 2016年9月

事業内容 土木建築・不動産・まちなか開発・施設運営

会員訪問記

予期せぬ独立創業から  
仲間と共に走り続けた11年

(株)アスタワン  
代表取締役 久米 幹夫氏 (浜松支部)



取材陣との集合写真 (左から2番目 久米氏)

浜松市中央区にある(株)アスタワンを浜松支部会員と訪問、代表取締役の久米氏取材しました。  
**共に歩み続ける仲間への感謝**

20年ほど地元企業でソフトウェアエンジニアとして経験を積んだ久米氏、そもそも独立志向の高いタイプでなく、いわゆる優等生的なサラリーマンだったそうです。しかし、勤務先で大きなアクシデントが発生したため、その当時の仲間たち18名を集い独立創業。サラリーマン生活が長く経営ノウハウは全く持っていなかったため、「独立する際に前勤務先の社長から協力や様々な助言をもらい感謝している」と言います。当時は振り返って「無茶なことをしたなとも思うが、今も多くの創業メンバーと仕事を続けていられることを考えると、仲間たちに感謝しなければ」と思い続ける毎日です」と久米氏。創業から3年は既掛けのお客様の信頼を得ることを心掛け、次の3年で組織づくりを力を入れ、その次に会社として成長することを目指していました。しかしコロナ禍による世界的な環境の変化で長く足踏みをしてしまったことに反省しているそうです。

**同友会入会のきっかけは 異業種との繋がり**

創業場所が浜松市内のインキュベーション施設で、そこで出会った浜松支部会員の江間省豪氏(テータマイン(株))と地元の展示会に出展した際に再会。向い側の出展者が江間氏であったという偶然で、数年ぶりの再会でしたが、これも何かのご縁と思わずに入

会を決めたそうです。

また、ソフトウェア業界は様々な課題を最新技術で解決することが役目であり、受け身のビジネスモデルが故、現場の声を聴くこともなかなか難しく、異業種企業とのつながりを求めていたと久米氏。そして、オプザバーとして例会に参加したバズセッションで会員の方々と心安く気兼ねなく会話ができ、様々な気付きを得られる場所にはないと感じたことが入会の決め手になったといいます。

**ITのプロフェッショナルとして地域社会に貢献する**

創業時にすでに18名体制と社員を多く雇用していたため理念や指針を設けることは重要と考え、真つ先に企業理念と経営理念を掲げました。それをベースに5年前にブラッシュアップし、時代に合わせてミッションとビジョンも追加しました。社員へ浸透させる難しさを感じつつも、採用時の会社紹介で説明するツールとしては、社長の思いを伝えるためにとて



説明する久米氏



会社ロゴマークと久米氏

**(株)アスタワン**  
〒435-0042 浜松市中央区篠ヶ瀬町1368-2  
TEL : 053-488-4427  
URL : <https://asterone.co.jp/>  
設立 2013年  
社員数 38名  
入会年月 2023年12月  
事業内容 ソフトウェア開発 (受託・派遣・自社商品開発)

取材・記事：花井純氏  
(スペースプランニング(株)・浜松支部)  
訪問：浜松支部会員

役に立っているといえます。最後に「企業にとって社会貢献は必要だと思っていたが、何をどうすれば貢献できるのかを考えると、ただで終わっていたところだった。同友会は経営環境の改善を目的にしており、一人では行動できないような行政への働きかけもしている。その一員として活動し、地域に貢献していきたい」と話してくれました。

## 2024組織強化・会員増強全国交流会

# 学び合い活動と地域に広げる運動を展開しよう！

8月20日(火) オンライン 参加者：478名

本交流会は①仲間づくりの輪を広げ、増える・強い組織づくりを進める、②会員増強の取り組みの中で成果と課題を確認し、全国的な教訓とする、③組織強化、会員増強、フォローの仕組みづくりを学び、仲間を増やす組織力をつける、の3点を目的に開催されています。

はじめに、中山英敬中同協幹事長による問題提起で、各県活動の実態調査の数字を元に、企業づくり・地域づくり・同友会づくりを一体とした取り組みで5万社を目指す意気込みが共有されました。続いて事例報告では3県から報告がありました。特に現在入会4年目の、福岡同友会福友愛支部の逸見裕子氏(株)ヘンシ企画/2023年度増強リーダー)の報告は印象に残りました。例会とは別に、支部を6ブロックに分け毎月持ち回りで70分程度の「知る会」を開催。「増強の手引」をバイブルとして、最小限の時間と労力で最大の成果を出す仕組み作りを実践されています。



江間組織増強委員長

正しいやり方を導き出すODARUP

を徹底的に回し、結果として1支部だけで2023年度の1年間で80名の入会を実現しました。片手間の増強では無く、戦略を持って取り組み、それを自社に落とし込んだことで売上も1.5倍になり、地域も同友会も良くなっていくという、まさに好循環のループを回して成功された報告でした。

その後のグループ討論では、新潟・沖縄・三重・高知・福岡・静岡のメンバーで、グループ長を務めさせていただき、会員増強と支部活性化の進め方について、70分間の熱い討論を交わしました。この熱を感じただけでなく、きちんと伝え実践することが最も大切だと感じました。

本交流会はコロナ禍以降、年に1度ZOOM開催を継続しておこなっています。現に行かないと参加できないわけでは無く、全国にいる同友会の目的に賛同した仲間と、同じ時間を共有し、議論が出来る素晴らしいイベントです。数年前には、会社にはない知らない土地の会ったことがない人とディスカッションをするなんて、想像もつきませんでした。ぜひこういった機会を活用し、自社と地域の発展に繋げていきましょう。

原稿：江間 宣豪氏  
(データマイン(株)・県組織増強委員長)

## 第11回 女性部ダイヤモンドカレッジ

# 豊かな人間性を育てる会社づくり

8月2日(金) サツマ電機(株) 参加者：17名

県女性部は沼津市のサツマ電機(株)にて第11回女性部ダイヤモンドカレッジを開催、同社の代表取締役であり女性部会長をつとめる梶川久美子氏による経営報告と会社見学を行いました。

同社は産業用ブレーキを設計・開発・製造しており、安心安全で高品質なブレーキを製造するため設計開発から製作・販売まで一貫して行っています。また、製品をより長く、安全に使用してもらうために「産業用ブレーキ調整講習会」を開催しており、コロナ禍からはYouTube動画での配信もスタートしサービス展開の拡充を図っています。

業をきっかけに地元に戻り家業に入ることを選択します。

経営者として10年、同友会で学んだことは「焦らない」ことだと梶川氏。社員教育について自身の思いがなかなか社員に伝わらずもどかしい思いをした時期もありましたが今は「気が付いたら変わってた」組織を目指して焦らずに時間をかけて取り組んでいます。取り組みとしては、社員同士のコミュニケーションを推進するために雑誌「致知」を読んでお互いの考えを発信しあう「社内木鶏会」や朝会、社員面談などを継続して行っています。こういった場をつくることで「社員は実はよく話す」ことに気づいたと梶川氏。「社員教育で大切にしているのは社員の『人間性』を育てること。社員がいきいきと働ける『土壌』をつくるのが経営者の仕事」と話しました。

その後は「どんな土壌(風土)の会社をつくりたいですか」をテーマにバズセッションし、各社の課題を赤裸々に話しながら「多能工化を進めたい」「トップダウンからの脱却」「社員が休める会社になりたい」「自分が生き生き経営している姿を見せて、写真も笑顔で働ける会社になりたい」など前向きに未来に向けて語り合える時間となりました。



同友会での学びを語る梶川氏

令和6年度 静岡県中小企業・小規模企業振興会議  
**中小企業・小規模企業の  
 持続的発展を議論**

8月27日(火) 静岡県庁

はじめに、村松県経済産業部長より「中小企業は地域経済や地域の雇用を支える重要な役割を担っている。長期化する物価高騰や人手不足、賃上げなど厳しい経営環境にある中で、脱炭素やDXなどをキーワードに新たな時代への転換が求められている。県行政は中小企業を様々な側面からサポートする立場にある中で、本会議は企業経営者等の生の声を聴く重要な場となっている」とあいさつがありました。続いて、県経済産業部より経済情勢や各種支援を紹介の後、「設備投資等による生産性向上の取組及び支援について」をテーマに参加者より報告。「ハード・ソフト両面での設備投資による生産性向上をめざしている」「若手経営者がチャレンジしやすい補助金制度の確立」「設備投資の計画段階と比較し物価高騰により負担が増えている」など取組や課題が共有されました。また、静岡同友会を代表して出席した井上代表理事からは「地域課題の解決の上に企業経営が成り立っている。振興条例を活用し、地域循環型の地域づくりにより官民一体となって取り組む必要がある」と伝えました。

静岡県中小企業・小規模企業振興会議は2016年に施行された「静岡県中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、中小企業経営者や支援機関、金融機関が参画し地域の生の声を届ける場として開催しています。

8月イントロセミナー

**社員の働く喜びを追求し  
 100年企業をめざす!**

8月23日(金) 同友会会議室&ZOOM

オプザバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。8月イントロセミナーにはオプザバーが1名参加、富士支部より昨年入会した深沢広樹氏(有清和電機製作所)が報告しました。

同社は深沢氏の祖父が創業、盤の組立配線などを行う会社です。深沢氏は1998年に入社、2006年に社長に就任します。社長就任時、深沢氏は在庫整理や作業時間の見直しを行いキャッシュフローを改善、さらに顧客を増やし利益率の改善に取り組みました。その結果、売上・利益率は増加したものの社員との距離は離れていったと言います。その後、祖父の死をきっかけに自分の考え方を反省し、社員は会社の財産と気づき心を入れ替えます。現在は同友会に入会し経営理念を作成しており、社員全員が楽しく誇りをもって働ける会社づくりを目指していると語りました。グループ討論では社員との関わりや「人間尊重の経営」について参加者同士で話を深める時間となりました。



自社経営を語る深沢氏

次回は、9月27日(金) 19時より、同友会での出会いを成長への活力に変えてきた佐々木優氏(サキキ工具㈱・静岡支部)が報告します! 皆さんのご参加お待ちしております。



静岡同友会設立50周年記念行事

**NEXT50 フォーラム**

～誰ひとり取り残さない～

2024  
 11/28  
 木

日 時：2024年11月28日(木) 13:00～20:00 (予定)  
 会 場：ホテルグランヒルズ静岡 (JR静岡駅南口より徒歩1分)  
 記念講演：「日本の伝統産業を世界へ！」

(株)能作 代表取締役会長 能作 克治氏 (富山同友会)

内 容：同友会マルシェ、全体会・記念式典、記念講演、大討論会、懇親会

★見どころ紹介★

- 同友会マルシェ 「静岡まるごと出会おう！」をテーマに県内会員の自慢の逸品が並びます
- 記念式典 静岡同友会のこれまでの50年の歩みを感じられる功労者表彰など
- 記念講演 積極果敢なチャレンジで伝統産業に新たな軸を描き、社長就任時と比較して社員15倍、工場見学者300倍、売上10倍、8年連続10%成長を達成した能作氏の経営実践は必聴
- 大討論会 「付加価値」「事業承継」「地域貢献」3つのテーマに分かれ、一つの会場で熱気あふれるバズセッションを行います
- 懇親会 「我が支部自慢PRタイム」など支部間の交流を深め、参加者全員が楽しめる企画も用意!



★特設ページ★

# 9月・10月

## DOYU CALENDAR

9月16日(月)～10月15日(火)

9月 18日(水)	伊東例会 (19:00 AJIROMUSUBI (元網代小学校)) 志太例会 (18:30 藤枝文化センター)
19日(木)	榛南例会 (18:50 牧之原市商工会議所) 中遠例会 (19:00 ワークピア磐田)
19日(木)～ 20日(金)	第52回青年経営者全国交流会in宮崎 (13:00 フェニックス・シーガイア・リゾートほか)
22日(日)	同友会まつりinごてんば産業フェア (9:00 御殿場市民会館)
24日(火)	県組織増強委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 県例会企画委員会 (18:30 ZOOM) 第21期経営指針を創る会 第7講 (19:00 ペガサート)
25日(水)	県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 県共育委員会 (18:30 ZOOM)
26日(木)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
27日(金)	イントロセミナー (19:00 同友会事務局&ZOOM) 三島例会 (19:00 三島商工会議所)

30日(月)	総務財務委員会 (16:00 同友会事務局&ZOOM)
10月 3日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
4日(金)	女性部ダイヤモンドカレッジ (15:30 同友会事務局&ZOOM)
7日(月)	NEXT50フォーラム幹事会⑧ (16:00 同友会事務局&ZOOM) 障がい者問題委員会 (18:30 同友会事務局&ZOOM)
8日(火)	静岡例会 (19:00 清水テルサ)
10日(木)	浜松例会 (19:00 調整中)
11日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川パイパス店)
15日(火)	NEXT50フォーラム実行委員会⑧ (16:00 同友会事務局&ZOOM)

《 あなたのスケジュールノートに  
必要事項をご記入ください 》



### 静岡県中小企業家同友会 会費の口座振替のお知らせ

会費について下記の通り、ご指定の口座から振替させていただきますので、ご確認をお願い致します。なお、領収については、通帳への記帳をもって代えさせていただきます。納入代行会社は「三井住友カード株式会社」、通帳印字は「SMBC(ドウユウカイ)」名で引き落としされます。

■口座振替日 2024年10月7日(月)

■振替会費 令和6年度下期会費(令和6年10月～令和7年3月)

※口座振替を原則(口座登録のない会員は請求書発送)とします。

■振替額 下表の「合算額(振替・請求額)」の下期10～3月分の金額となります。

会費は6ヶ月分の前納制となります。上期(4～9月分)と、下期(10～翌3月分)の年2回に分け、「県会費」+各会員の該当する「支部会費」の合算額を徴収します。※口座情報等で会員企業に変更登録等の手続をお願いすることはありません。支部会費の変更がある際は速やかにお伝え申し上げます

(改定)2024年10月より		
県会費	会員1名あたり	(上期:4～9月分)42,000円 (下期:10～3月分)42,000円
支部会費	以下の支部に所属する会員は「県会費」と「支部会費」を徴収します	
	伊東、三島、沼津、富士、富士宮、志太、榛南支部	これまでと同じ支部会費です。 (上期:4～9月分)6,000円 (下期:10～3月分)6,000円
	御殿場、静岡、中遠、浜松支部	支部会費なし
合算額(振替・請求額)	伊東、三島、沼津、富士、富士宮、志太、榛南支部	「県会費」+「支部会費」 (上期4～9月分)48,000円 (下期10～3月分)48,000円
	御殿場、静岡、中遠、浜松支部	「県会費」のみ (上期4～9月分)42,000円 (下期10～3月分)42,000円

\*会費は消費税法基本通達 5-5-3 に該当する科目のため、不課税となります。課税仕入れにしないようお願いいたします。

\*当会はインボイス発行事業者ではありません。

\*休会者の振替額は、上表の「県会費」の半額(上期 21,000円・下期 21,000円)となります。

### <静岡県中小企業家同友会 事務局移転のお知らせ>

静岡県中小企業家同友会の事務局は8月19日より下記住所に移転となりました。

**新住所:** 〒420-0852 静岡市葵区紺屋町4番8 ガーデンスクエア第3ビル5階B

※電話・FAX・メールアドレスの変更はありません。